

車に頼らない乳幼児連れの移動

～公共交通におけるベビーカー利用～

神戸女子大学家政学部
西本由紀子



はじめに



近年、公共交通機関におけるエレベーターの設置などバリアフリー環境の整備が進み、ベビーカーに子どもを乗せたまま気軽に外出しやすい環境が整いつつある。

少子化対策の一つとして「子育てバリアフリーの推進」が取り上げられ、子育てを支援する生活環境の整備が進められている。

一方で、公共交通機関におけるベビーカー利用については、ヒヤリハットの事故やベビーカー利用者と周囲の人々との意識の差などが顕在化している。

交通事業者の取り組みやベビーカーマークも統一的でなく、事業者独自のものが多い。

ベビーカーを利用しやすい環境づくりを検討する。

P-02

目次



1. はじめに
2. 現在の子育て状況
3. 公共交通機関におけるベビーカー利用者観察調査
4. 乳幼児の保護者を対象とした

ベビーカー利用に関する意識調査

5. 鉄道内におけるベビーカー利用に対する乗客の意識
6. 国土交通省「ベビーカー利用に関する協議会」取りまとめ
7. おわりに



P-01

交通バリアフリー 法の整備



- ・ハートビル法 1994年
「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」
- ・交通バリアフリー法 2000年
「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」
- ・バリアフリー新法 2006年
「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」

※妊産婦や子ども連れは対象とされているが、ベビーカーを利用する乳幼児連れは直接の対象として位置づけられていなかった。

P-03

少子化対策 法の整備



少子化対策

きっかけ:1990年の合計特殊出生率 1.57ショック

- ・「エンゼルプラン」1994年
- ・「新エンゼルプラン」1999年

次世代育成支援

- ・「少子化対策プラスワン」2002年（厚生労働省）
「子育てを支援する生活環境の整備『子育てバリアフリー』の概念を明示
- ・「子ども・子育て応援プラン」2005年
- ・「子ども・子育てビジョン」2010年
『子育てバリアフリーの推進』を主要施策として位置づける

P-04

現在の母親



年齢の広がり:

- ・ 20年前は「お母さん」の多くが20代後半であったが、現在は10代～40代、職業も様々な「お母さん」がおり、多様化している
- ・ 子育て用具の選び方などで価値観が様々

子育ての意識の変化:

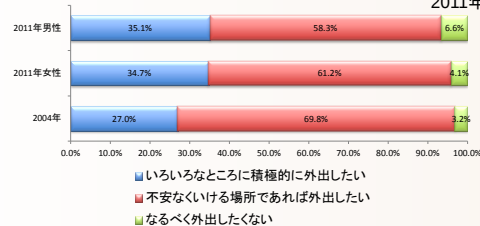
1960年代頃までは、子育ての知識は母からの継承だったが、現在は育児書(雑誌、インターネットからの情報)が中心である

P-05

妊娠中・子ども連れでの外出に対する意識



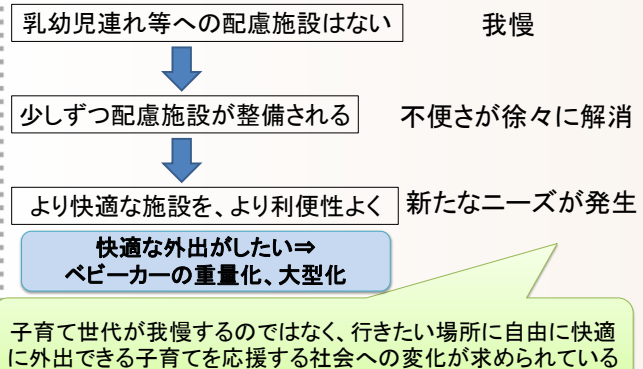
こども未来財団 「子育て中の親の外出に関するアンケート」より
2011年, 2004年



- 妊娠中・子ども連れでの外出意向は「不安がなければ外出したい」が最も多い
- 「いろいろなところに積極的に外出したい」は3割台、2004年調査よりも積極的な外出意向が高まっており、若い世代や子育て環境への関心が高い層で積極派が多い

P-06

バリアフリー整備が進むことによる変化

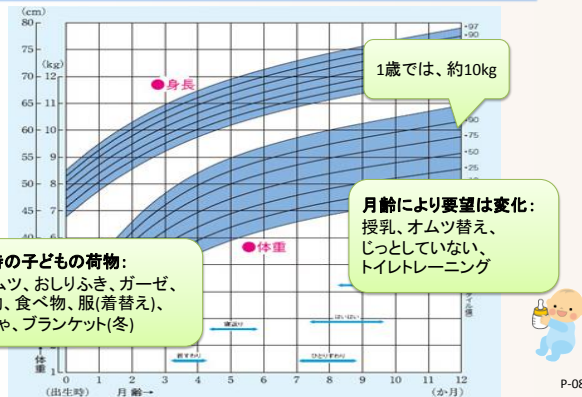


P-07

乳幼児の身体発育 (平成22年乳幼児身体発育調査より)



出生から12カ月までの発育の目安(男子)



子育て中の外出活動とバリア



- ①交通システムに関するバリア
- ②活動機会に関するバリア
- ③外出に伴い派生する活動に関するバリア
- ④子どもの活動に親のスケジュールが拘束されることによる時間制約等のバリア
- ⑤子育て支援サービスの利用に関するバリア
- ⑥外出および子育て支援サービス等の情報入手に関するバリア

日本都市計画学会 都市計画論文集 VOL.46 NO.3 2011年10月

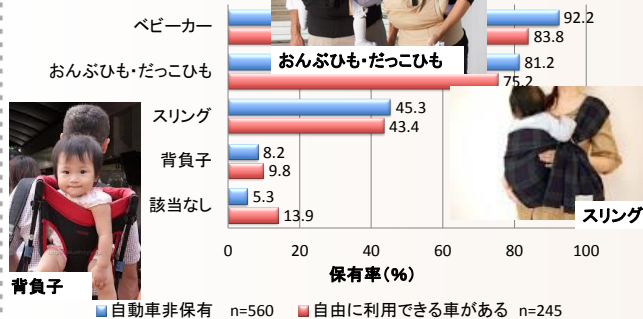
「子育て中の女性の外出行動とバリアに対する意識に関する研究

-首都圏在住の乳幼児を持つ母親を対象として- 大森直暁ら より P-09

乳幼児連れの移動



幼児運搬用具の保有状況



近年の国内ベビーカー

出生数: 約107万人/年(2009年)

ベビーカー販売台数: 7~80万台/年(2009年)

乳母車SGマークの基準改正(2009年)(財)製品安全協会

SGマーク付きベビーカー: 37.8万台/年(2009年)

旧SG基準

A形: 1月~24月
B形: 7月~24月1か月~36か月頃まで
両対面式 4.4kg

新SG基準

A形
腰がすわる前~
最大48月
(寝かし・使用時間: 2時間)B形
腰がすわってから~
最大48月
(寝かし・使用時間: 1時間)

海外品

1か月~48か月頃まで
背面式 7.1kg

お母さんの多様化
「軽さ」⇒「押しやすさ」、
「おしゃれさ」重視へ

P-11

公共交通機関における 近年のベビーカー取扱い状況



電車車両内での取り扱い

- 東京メトロでは、1998年まではベビーカーを開いた状態で乗せることを禁じていたが、99年からは、利用者の責任の範囲で認めている。
- JR東日本ほか関東・中部・関西の鉄道事業者30社が2008年3月末からベビーカーキャンペーンを実施している。



P-12

公共交通機関における 近年のベビーカー取扱い状況



バス車両内での取り扱い

ベビーカーを広げて乗車する場合の各社規定例



横浜市交通局



大阪市交通局

P-13

これってマナー違反？



電車にベビーカーを押して
乗車してきたら「迷惑」31%

首都圏在住20～60代の男女1000人の
アンケート結果(2010年6月)
野村プレミアムプランズ調べ

2010年8月23日 日本経済新聞(夕刊)

P-14

電車内のベビーカー利用に賛否両論 啓発ポスター引き金



少子化対策の一つとして、
「赤ちゃんを育てやすい環境をつくる」
首都圏の鉄道24社と東京都、鉄道
利用者に呼びかけるポスターを掲出
2012年8月26日 朝日新聞

P-15

公共交通機関におけるベビーカー利用者観察調査



調査概要

調査対象	JR神戸線(須磨～芦屋)駅構内及び車両内でベビーカーを利用し乳幼児を伴っている人とその同行者
調査方法	調査員(各日3名)による観察調査(追跡あり)
調査日 天候(最高/最低気温)	平日、休日の各2日 (2009年1月25,26日、2月6,11日) 1月25日(日)晴れ(7/1℃)、1月26日(月)曇り(8/2℃) 2月6日(金)晴れ(11/6℃)、2月11日(祝)晴れ(12/5℃)
調査時間帯	各日10-16時(この時間帯は、対象者への事前アンケートで最も利用の多い時間帯であった)
調査件数	平日97件、休日113件 計210件

P-16

鉄道における観察調査結果
車両の乗降方法

乗車

前輪を上げて



降車

前輪を上げて



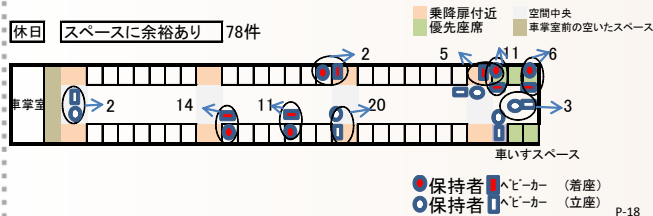
後向きで



P-17

鉄道における観察調査結果
ベビーカー利用者の行動特性

- ① 同行者を伴わず行動(半数以上)
- ② 乗降時・乗車中ともに「ベビーカーを広げたまま」
⇒約80%
- ③ 乗車中の位置や立着状況
⇒「乗降ドア付近」「通常座席」「優先座席」の順



P-18

鉄道における観察調査結果
車両内のベビーカー利用者の状況

車両の混み具合とベビーカー利用者の状況(n=210)

車両の混み具合		満員、やや混雑 〈混み合っている〉		席埋まり、空席あり、がらがら 〈スペースに余裕あり〉		合計
位置	立・座	立座	着座	立座	着座	
乗降ドア付近		13	0	55	0	68(32.4%)
通常座席		0	3	12	43	58(27.6%)
優先座席		0	1	0	56	57(27.1%)
補助席		0	4	0	11	15(7.1%)
車両				5	0	5(2.4%)
車掌				2	0	4(1.9%)
車いす				3	0	3(1.4%)
				36.7%	110(52.4%)	210(100%)

車内スペースに余裕があっても乗降ドア付近に立っていることが多い

P-19

鉄道における観察調査結果

ベビーカー利用者の危険な行動特性



①車両への乗降

- ・車両とホームの隙間が広い場合
- ・2人以上の子どもを連れている場合



②上下移動

- ・階段の上り下り
- ・エスカレーターの使用



③ベビーカーの荷物

- ・重量バランスが崩れ、後方へ転倒



P-20

乳幼児の保護者を対象とした

ベビーカー利用に関する意識調査



調査概要

調査対象	神戸市保健福祉部実施の4か月、1歳6か月健康診査対象の乳幼児の保護者 神戸市N区役所実施の子育てセミナーの参加者
調査方法	質問紙調査(留置自記法)
配布／回収方法	事前郵送配布／直接回収 一部、直接配布／直接回収を行った
調査時期	2009年1月～3月
回収率	66.3% (有効回収数698票／配布数:1052票)

回答者の年齢

(n=675)



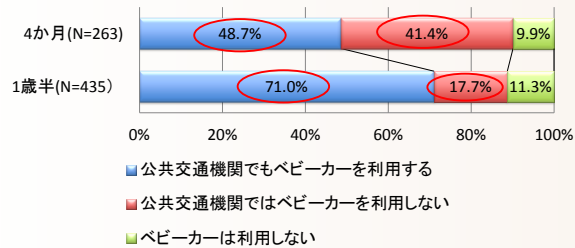
P-21

乳幼児の保護者意識調査結果

乳幼児連れの外出実態



外出時のベビーカー利用について



(n=698)

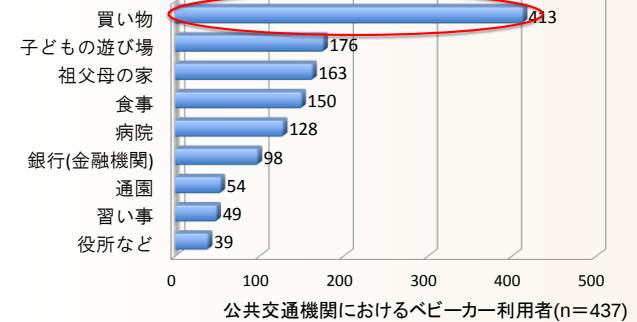
P-22

乳幼児の保護者意識調査結果

乳幼児連れの外出実態



外出目的・外出先



P-23

鉄道内におけるベビーカー利用に対する乗客の意識

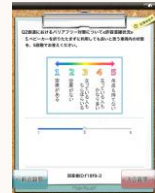


調査概要

対象	関西在住、10代～60代の鉄道利用者	
調査方法	タブレット端末を用いた街頭インタビュー形式調査	直接配布／直接回収による質問紙調査
回答数	168	154 (配布数200／回収率 77%)
調査期間	2011年10～12月	2011年11～12月



タブレット端末による調査の様子



タブレット端末によるアンケート:プレビュー

P-28

世代間意識調査結果 回答者の属性

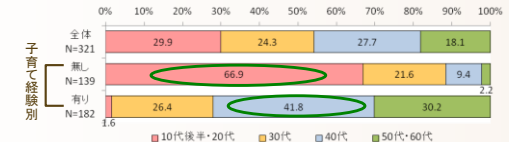


		年齢（無回答を除く）						性別		合計
		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60歳以上	男性	女性	
全体	人	7	89	78	89	41	17	127	195	322
	%	2.2	27.7	24.3	27.7	12.8	5.3	39.4	60.6	100.0

		子育て経験		末子の年齢（無回答を除く）			合計
		有り	無し	0～5歳の子をもつ親	6～19歳の子をもつ親	20歳以上の子をもつ親	
全体	人	182	140	55	80	40	322
	%	56.5	43.5	31.4	45.7	22.9	100.0

◆ 本報では、ベビーカー利用世代を0～5歳の子を持つ親としている。

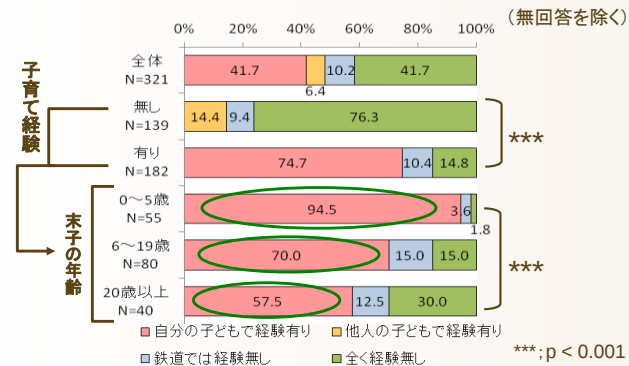
◆ 年代構成: 子育て経験別 (無回答を除く)



P-29

世代間意識調査結果

鉄道におけるベビーカー利用経験



子育ての時期が遡るにつれて、鉄道でのベビーカー利用経験者は少なくなった

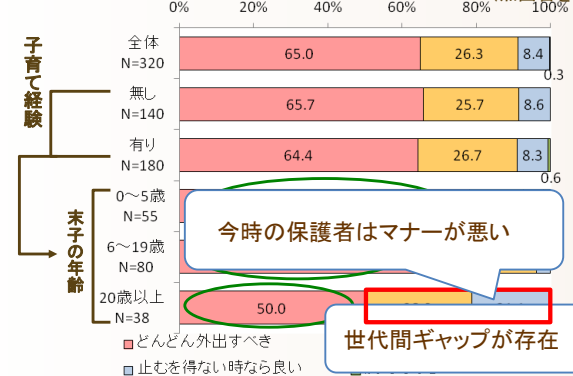
P-30

世代間意識調査結果

鉄道でのベビーカー利用に対する是非



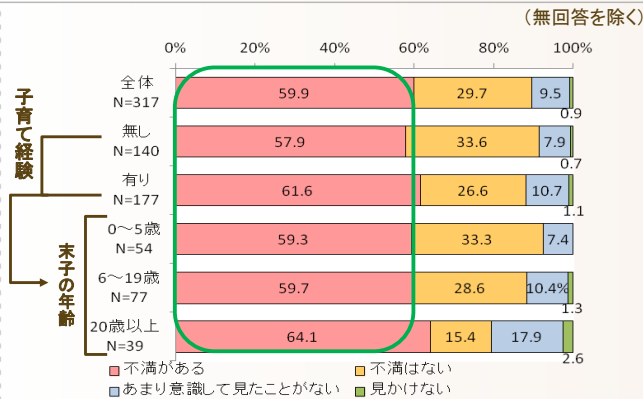
鉄道でベビーカーを利用するの外出について、あなたはどのように思いますか？ (無回答を除く)



P-31

世代間意識調査結果

ベビーカー利用者に対する不満の有無



P-32

世代間意識調査結果

鉄道でのベビーカー利用に対する不満の内容



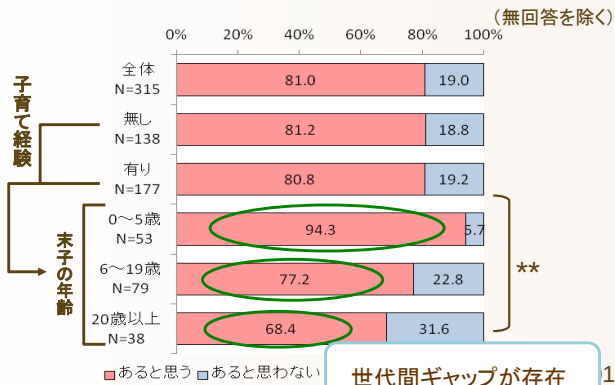
★末子年齢別



P-33

世代間意識調査結果

ベビーカー利用者の周囲への気遣いの有無



P-34

「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」

2014年3月26日 とりまとめ

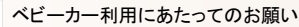
ベビーカー協議会とりまとめの概要



- I ベビーカー利用の現状と課題**
- バリアフリー化の進展に伴い子ども連れでの外出が増加してきた結果、公共交通機関等におけるベビーカー利用に関するトラブルや意識の差などが顕在化
 - 交通事業者等の取り組みやベビーカーマークも、統一の取り扱いではなく、事業者独自のものが多く
 - 「安全な使用」「ベビーカー利用への理解・配慮」の2つの課題に応え、ベビーカーを利用しやすい環境づくりを整備するため、「ベビーカー利用にあたってのお願い」及び「ベビーカー利用に配慮する統一的なマーク」について定めることが適当
- II 「ベビーカー利用にあたってのお願い」と関係者の取り組み**
- 「子どもの安全を守る」「子育てしやすい環境をつくる」ために、利用者及び関係者が自主的に取り組むことをお願い事項として整理
 - ①ベビーカーの安全な使用〔チラシ等〕により周知
 - ベビーカー使用者に対し、子どもの安全を守るためにベビーカーの使用法で心がけてもらいたいことを整理(シートベルト着用、ストラップによる固定、子どもを降ろす時のエスカレーター利用等)
 - ベビーカー販売時や駅、商業施設等で配布
 - ②ベビーカー利用への理解・配慮〔ポスター等〕により周知
 - ベビーカー使用者及び周囲の方の双方に対し、快適に利用してもらうため、お互いに理解や配慮をしてもらいたいことを整理(周囲の方の気遣い、見守り・手助け、周囲に配慮した操作等)
 - 駅、バス、商業施設等に掲示
 - ③関係者の取り組み
 - 交通事業者・施設管理者等が、様々な利用者にとって移動しやすい環境を整備するために取り組むべき事項を整理(エレベーターを利用しやすい環境の整備、車椅子スペースの活用、事故防止のための取り組み等)
- III 統一的なベビーカーマークの作成**
- 「お願い」に盛り込んだことを視覚的に明示するために、統一のマークを選定
 - ①案内図記号
 - ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示(エレベーター、鉄道やバスの車椅子スペース等)
 - ②禁止図記号
 - ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示(エスカレーター等)
- IV 今後の普及・啓発**
- 協議会構成員は、広く国民や利用者に対し、広報・周知活動を実施
 - ポスターの掲示、チラシの配布、ベビーカーマークの掲出
 - キャンペーン、イベントの実施等

<http://www.mlit.go.jp/common/001032707.pdf>

2014年5月1日～5月31日



- ぜひヘビーカーは万が一の命を守るために活用しましょう

ヘビーカーの安全な使用のために

新製品「ベビーカー」の安全な使用のために

ベビーカーの正しい使い方

ベビーカーの正しい使い方を示すイラスト。ベビーカーの構造や、正しい持ち方、歩行時の姿勢などが示されています。

ベビーカーの安全な使用のために

ベビーカーの安全な使用のために示すイラスト。ベビーカーの構造や、正しい持ち方、歩行時の姿勢などが示されています。

ベビーカーの安全な使用のために

ベビーカーの安全な使用のために示すイラスト。ベビーカーの構造や、正しい持ち方、歩行時の姿勢などが示されています。

ベビーカーの安全な使用のために

ベビーカーの安全な使用のために示すイラスト。ベビーカーの構造や、正しい持ち方、歩行時の姿勢などが示されています。

[illegible]

(参考)ベビーカー優先スペース
先進事例:広島電鉄LRT車両内

2014年5月23日 毎日新聞(夕刊)



公共交通機関におけるベビーカー利用については、「子どもの安全を守る」「子育てしやすい環境をつくる」という視点から、

- ①ベビーカーの安全な使用
- ②ベビーカー利用への理解・配慮
- ③関係者の取り組みなど、一定の方針が示された。

今後、状況に合わせて関係者の取り組みを具体的に
進めること、子育て層は常に変化していくため、継続的
な普及・啓発活動が重要となる。



10